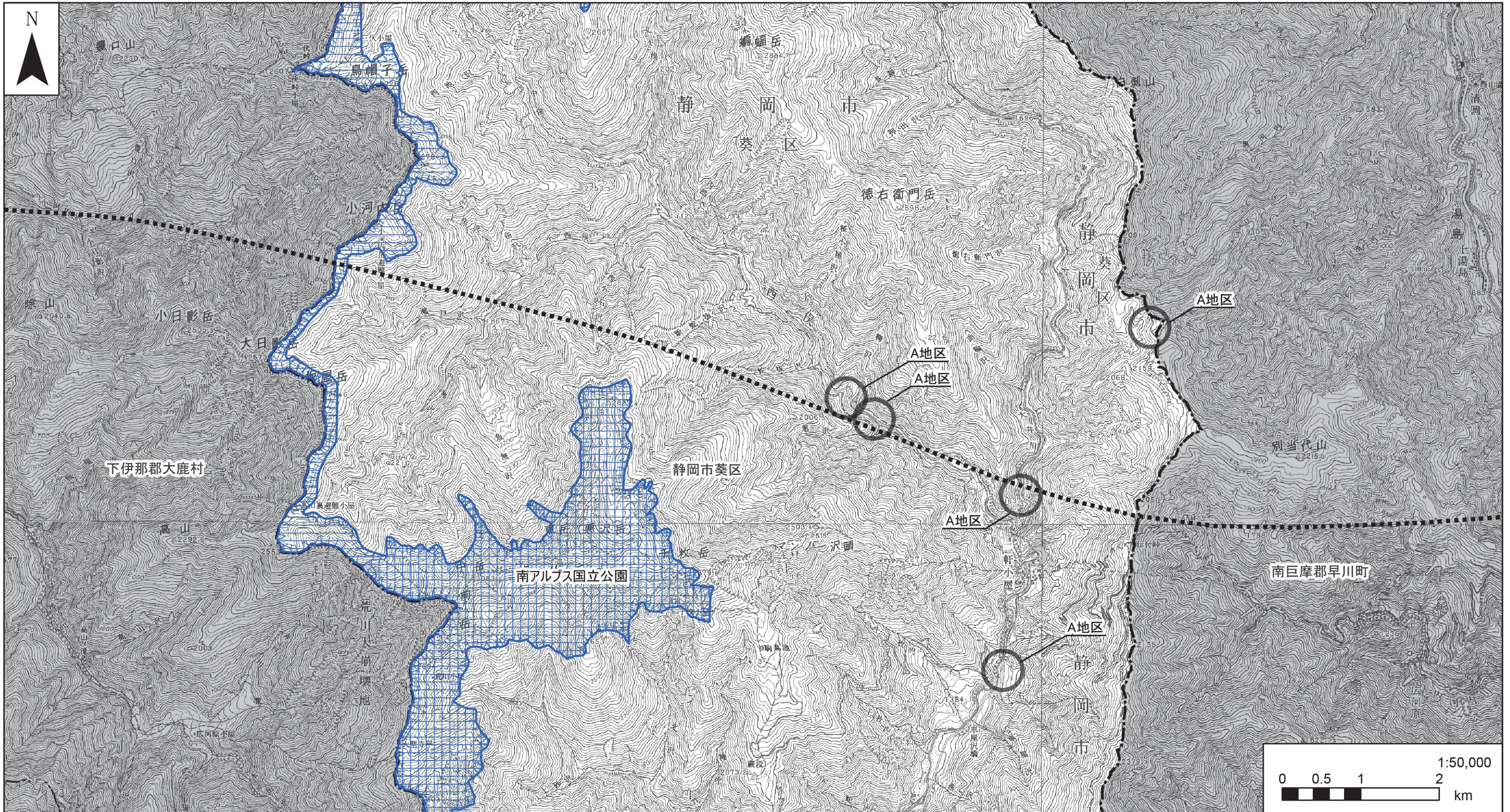


### 3 工事計画

#### 3-1 工事位置

工事位置を図 3-1-1 に示す。





凡例

..... 計画路線（トンネル部）

--- 県境

---- 市区町村境

 自然公園区域

 自然公園特別地域

 自然公園特別保護地区

図 3-1-1 工事位置図



## 3-2 工事工程

工事工程を表 3-2-1 に示す。

表 3-2-1 工事工程表

| 区分              |               | 工種        | 1年目 | 2年目 | 3年目 | 4年目 | 5年目 | 6年目 | 7年目 | 8年目 | 9年目 | 10年目 | 11年目 |  |  |
|-----------------|---------------|-----------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|------|------|--|--|
| A地区<br>(非常口、坑口) | 非開削<br>(NATM) | 掘削、支保工    | ■   |     |     |     |     |     |     |     |     |      |      |  |  |
|                 |               | 覆工        | ■   |     |     |     |     |     |     |     |     |      |      |  |  |
|                 |               | インパート工    |     |     |     | ■   |     |     |     |     |     |      |      |  |  |
|                 |               | ずり処理工     | ■   |     |     |     |     |     |     |     |     |      |      |  |  |
|                 |               | 路盤工       |     | ■   |     |     |     |     |     |     |     |      |      |  |  |
|                 |               | ガイドウェイ設置工 |     |     |     |     |     |     |     | ■   |     |      |      |  |  |
|                 |               | 電気機械設備工   |     |     |     |     |     |     |     | ■   |     |      |      |  |  |
|                 |               | 造成工       | ■   |     |     |     |     |     |     |     |     |      |      |  |  |

### 3-3 建設機械の台数について

建設機械の台数については、下記の手順に基づき求めた。

- ・ 建設する構造物の規模や地質条件などに基づき、施工法を設定し、それに基づく、工種及び各工種に必要な建設機械を選定した。
- ・ 選定した建設機械について、計画の工期及び建設機械 1 台当たりの施工能力を考慮して、台数を求めた。

これらの方法に基づいて算定を行った建設機械の台数を表 3-3-1 に示す。









### 3-4 資材及び機械の運搬に用いる車両の運行台数について

資材及び機械の運搬に用いる車両の運行台数については、資材の運搬に用いる車両、機械の運搬に用いる車両及び発生土の運搬に用いる車両それぞれについて以下に示す方法で算定し合計した。

#### (1) 資材の運搬に用いる車両台数

- ・トンネル及び非常口等の建設工事においては、地質や断面、建設する構造物の規模や施工手順、建設機械1台当たりの施工能力、配置可能な建設機械の台数等を考慮して、1月当たりの作業数量を算定した。
- ・その上で、上記の作業数量と、単位作業数量当たりが必要となる鋼材、コンクリート等資材の標準的な量から、資材の種類毎に、1月当たりが必要となる数量を算定した。
- ・種類毎に求めた資材の数量を運搬車両の能力（1台当たり積載量）で除して1月当たりの運搬車両の台数を算定し、種類毎の台数を合計して1月当たりの運搬車両の総数を算定した。

#### (2) 機械の運搬に用いる車両

- ・「3-3 建設機械の台数について」で求めた建設機械の台数に基づき、機械の搬入、搬出等が必要となる月において、必要台数を算定した。

#### (3) 発生土の運搬に用いる車両

- ・トンネル及び非常口等の建設工事においては、地質や断面、建設する構造物の規模や施工手順、建設機械1台当たりの施工能力、配置する建設機械の台数等を考慮して算定した1月当たりの作業数量（掘削延長）、掘削断面積をもとに、1月当たりの掘削土量を算定し、地山に対する掘削後の体積の増加量を加味して、1月当たりの発生土量を算定した。
- ・1月当たりの発生土量を運搬車両の能力（1日1台当たり積載量）及び月当たりの稼働日数で除して1月当たりの運搬車両の台数を算定した。

これらの方法に基づいて算定を行ったそれぞれの台数を合計した資材及び機械の運搬に用いる台数を表 3-4-1 に示す。なお、予測評価にあたっては、1日当たりの台数が必要となるため、1月当たりの車両の合計台数を月当たりの稼働日数で除して1日当たりの車両の台数を算定して用いた。



表 3-4-1 資材及び機械の運搬に用いる車両の運行台数

| 場所              | 1年目    |        | 2年目    |        | 3年目    |        | 4年目    |        | 5年目    |        | 6年目    |        | 7年目    |        | 8年目    |        | 9年目    |        | 10年目   |       | 11年目   |       |
|-----------------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|-------|--------|-------|
|                 | 最大台数/月 | 総台数/年  | 最大台数/月 | 総台数/年  | 最大台数/月 | 総台数/年  | 最大台数/月 | 総台数/年  | 最大台数/月 | 総台数/年  | 最大台数/月 | 総台数/年  | 最大台数/月 | 総台数/年  | 最大台数/月 | 総台数/年  | 最大台数/月 | 総台数/年  | 最大台数/月 | 総台数/年 | 最大台数/月 | 総台数/年 |
| A地区<br>(非常口、坑口) | 6,812  | 48,008 | 6,873  | 61,870 | 4,522  | 51,120 | 7,057  | 70,512 | 7,226  | 85,006 | 8,548  | 95,176 | 8,542  | 90,152 | 6,707  | 60,421 | 3,524  | 30,994 | 2,428  | 9,071 | 244    | 481   |



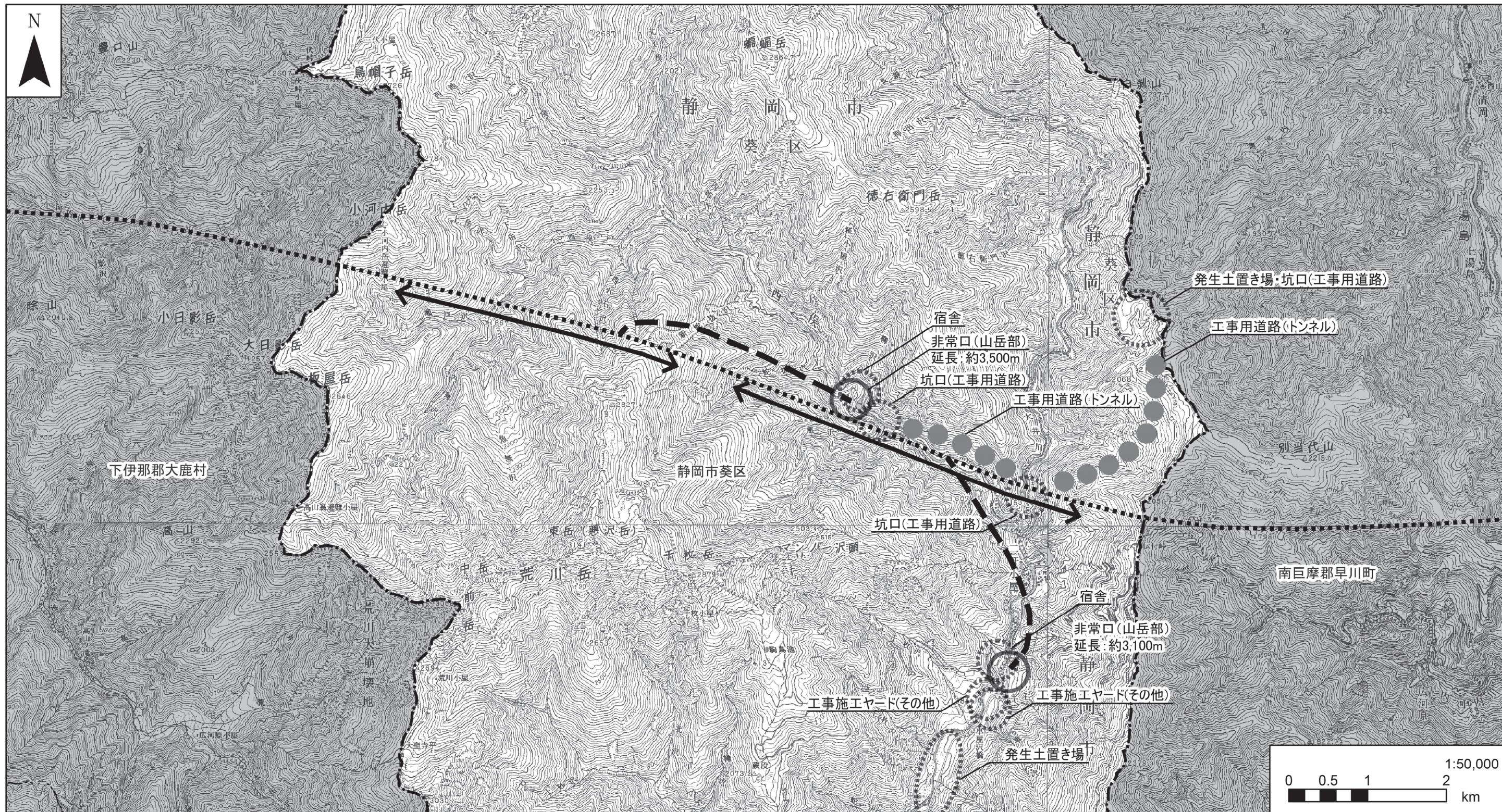
### 3-5 本線トンネル及び非常口（山岳部）の計画

本線トンネル及び非常口（山岳部）の計画を図 3-5-1 に示す。非常口（山岳部）の断面は、30～60 m<sup>2</sup>程度を考えている。

なお、図 3-5-1 に示す本線トンネル及び非常口（山岳部）の計画は、今後の工事計画の具体化において変更する可能性がある。







凡例

- ..... 計画路線 (トンネル部)
- 県境
- 市区町村境
- 掘削方向
- 非常口 (山岳部 (トンネル部))

※非常口 (山岳部) のルートは概略である  
 ※非常口 (山岳部) の延長は100m単位とした  
 ※南アルプス部のトンネル施工においては、掘削時の地質把握のために、本坑に並行な位置に、断面の小さい先進坑を掘削する

図 3-5-1 本線トンネル及び非常口 (山岳部) の計画

